新着本レビュー

H28　4月　20日

分類番号	書名	著者名	レビュー
9イ	サブマリン 	伊坂幸太郎	陣内さん、出番ですよ。『チルドレン』から、１２年。家裁調査官・陣内と武藤が出会う、新たな「少年」たちの物語。伊坂幸太郎、書き下ろし長編。
9ウ	うめ婆行状記 （ぎょうじょうき） 	宇江佐真理	僅かな月日でも好きなように生きられたら―。北町奉行所同心の夫を亡くした商家出のうめは、気ままな独り暮らしを楽しもうとしていた矢先、甥っ子の隠し子騒動に巻き込まれ、ひと肌脱ぐことを決意するのだが…。笑って泣いて―“遺作”に込められた家族愛、そして夫婦愛の物語。最後の長編時代小説。
9カ	坂の途中の家 	門田光代	最愛の娘を殺した母親は、私かもしれない。虐待事件の補充裁判員になった里沙子は、子どもを殺した母親をめぐる証言にふれるうち、いつしか彼女の境遇に自らを重ねていく。社会を震撼させた虐待事件と〈家族〉であることの光と闇に迫る心理サスペンス。

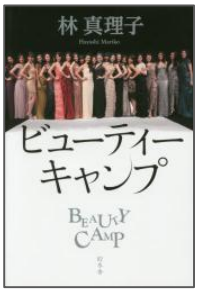
新着本レビュー

H28　4月　20日

分類番号	書名	著者名	レビュー
9ナ	世界の果てのこどもたち 	中脇初枝	あの戦争は、誰のためのものだったのだろうか。戦時中に満洲で出会った三人の女の子。『きみはいい子』著者の、新たな代表作。 本屋大賞　第３位 寄贈本です。
9ハ	暗幕のゲルニカ 	原田マハ	反戦のシンボルにして 20 世紀を代表する絵画、ピカソの〈ゲルニカ〉。国連本部のロビーに飾られていたこの名画のタペストリーが、2003 年のある日、突然姿を消した――誰が〈ゲルニカ〉を隠したのか？
9ハ	辛夷の花 （こぶし） 	葉室麟	九州豊前の小藩、小竹藩の勘定奉行・澤井家の志桜里は近習の船曳栄之進に嫁いで三年、子供が出来ず、実家に戻されている。近頃、藩士の不審死が続いていた。現藩主の小竹頼近は養子として迎えられていたが、藩主と家老三家の間に藩政の主導権争いの暗闘が火を噴きつつあった。藩主が襲われた時、命を救った木暮半五郎が志桜里の隣家に越してきた。剣を紐で縛り”抜かずの半五郎”と呼ばれてきた男が剣を抜く時！　小藩の藩政を巡る攻防と志桜里の思い。

新着本レビュー

H28　4月　20日

分類番号	書名	著者名	レビュー
９ハ	ビューティーキャンプ 	林真理子	並河由希の転職先はミス・ユニバース日本事務局。ボスは、ＮＹの本部から送り込まれたエルザ・コーエン。ブロンドに１０センチヒール、愛車ジャガーで都内を飛び回り、美の伝道師としてメディアでひっぱりだこの美のカリスマだ。彼女の元に選りすぐりの美女１２名が集結し、いよいよキャンプ開始。たった一人が選ばれるまで、運命の２週間。小説ミス・ユニバース。
９マ	バベル九朔 	万城目学	作家志望の「夢」を抱き、雑居ビル「バベル九朔」の管理人を務めている俺の前に、ある日、全身黒ずくめの「カラス女」が現れ問うてきた…「扉は、どこ？バベルは壊れかけている」。巨大ネズミの徘徊、空き巣事件発生、店子の家賃滞納、小説新人賞への挑戦―心が安まる暇もない俺がうっかり触れた一枚の絵。その瞬間、俺はなぜか湖にいた。そこで出会った少女から、「鍵」を受け取った俺の前に―雲をも貫く、巨大な塔が現れた。著者初の自伝的？青春エンタメ！

新着本レビュー

H28　4月　20日

分類番号	書名	著者名	レビュー
9ミ	羊と鋼の森 	宮下奈都	2016年 第13回 本屋大賞受賞 ゆるされている。世界と調和している。それがどんなに素晴らしいことか。言葉で伝えきれないなら、音で表せるようになればいい。ピアノの調律に魅せられた一人の青年。彼が調律師として、人として成長する姿を温かく静謐な筆致で綴った、祝福に満ちた長編小説。
38	イラストで見る昭和の消えた仕事図鑑 	澤宮優	汗と知恵で激動の時代を生き抜いた人たちの記録！全１１５種。三助、屑屋、活動弁士、赤帽、バスガール、倒産屋…。今では姿を消した、懐かしい昭和の職業を仕事内容から収入額、労働時間まで網羅しすべてイラスト付きで紹介！